

お

し

か

た

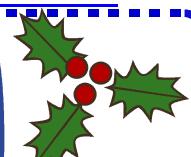


押方小学校通信 №.8 (12月号) R7.12.24

文責 校長: 黒木

今月の全校朝会の話 『挨拶に込められた「命の願い」』

12月



本校では、「夢や希望を抱きながら、やさしく、かしこく、たくましく生きる心豊かな児童の育成」を教育目標に掲げ、この実現に向けた四つの重点事項「命の尊重・学力向上・体力向上・信頼される学校」のうち、私たちは「命の尊重」を最も大切な土台として位置づけています。

今年も残すところあとわずかとなった12月、全校児童に向けて、普段何気なく交わしている「挨拶の言葉」に込められた、深い「命の願い」について話をしました。

★ 「行ってきます」「ただいま」の深い意味 ★

児童たちに「家を出るとき、何て言いますか?」と尋ねると、「行ってきます!」と元気な声が返ってきます。この日常の挨拶には、私たちが想像する以上に、大切な人の命を願う気持ちが込められています。

「行ってきます」は、「行って、必ず生きて帰って来ます」という決意と誓いが込められた言葉です。そして、それに応える「行ってらっしゃい」は、「行って、必ず生きて帰ってきてください」という、見送る人の切なる願いが込められています。

また、「ただいま」は、「今、この瞬間に、無事に生きて帰ってきました」という報告の言葉を短くしたものであり、「おかえり」の裏には「無事に帰ってきてありがとう」という感謝の気持ちが隠れています。

昔の旅は命がけでした。だからこそ、こうした挨拶の言葉一つひとつに、大切な人とまた会えることを願う、「命の尊重」の精神が凝縮されていたのです。

★ 言葉の力と「生きることへの感謝」 ★

日本には、口にしたことが現実に起きるという「言霊」の信仰があります。挨拶のもつこの深い意味や、戦時中に二度と帰れない覚悟で「行きます」とだけ言った特攻隊の歴史などについても伝えています。



この話を通じて、子どもたちに感じてほしいのは、以下の2点です。

★ 「行ってきます」「ただいま」と当たり前に言える日常への感謝。

★ 言葉には大きな力があり、一つ一つの言葉を大切に使うこと。

12月は慌ただしくなりますが、子どもたちには挨拶の言葉に込められた「命の願い」を思い出し、自分自身の命、そして友達の命を大切にする行動を実践してほしいと願っています。

笑顔輝く押方小学校で、残りの日々も全力で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りとご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

主な行事の様子



1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
12/28	29 年末年始の休日	30 年末年始の休日	31 年末年始の休日	1 祝日： 元日	2 年末年始の休日	3
4	5	6	7 始業の日 PTAあいさつ(生環)	8	9	10
11	12 祝日： 成人の日	13	14 CRT(国・社)	15 CRT(算・理) フッ化物洗口	16 町子育て講演会	17
18	19	20 租税教室(5・6年) 誕生日給食	21	22 フッ化物洗口	23 給食感謝集会	24
25	26	27	28	29 フッ化物洗口	30	31

※ 押方小ホームページ閲覧者が100万人を超えるました！
今後も子どもたちの様子の他、学校通信や給食献立等もあげていきます。これからも、よろしくお願ひします。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1802/>

